

会議録要旨

会議名	令和7年度 山陽小野田市空家等対策協議会（第1回）
開催日時	令和7年7月30日(水) 14時00分～14時35分
開催場所	山陽小野田市役所 大会議室
出席者	古川副市長（会長代理）、石部智子委員、井口眞委員、岡田卓司委員、小倉敏幸委員、村上景二委員、山本康嗣委員、吹金原信夫委員、以上8名
欠席者	瀬口潤二委員、岡山清委員
事務局	市民部 梅田部長、山本次長 市民部生活安全課 熊野課長、山田課長補佐、末富主任、中村主事
会議次第	1 会長あいさつ 2 議題 ・空家等活用促進区域設定後の進め方
会議要旨	<p>2 議題 空家等活用促進区域設定後の進め方</p> <p>【委員】 空家等管理活用支援法人は、県内で指定している市町はあるか。</p> <p>【事務局】 防府市と周南市が指定している。</p> <p>【委員】 活用希望者はいろいろな条件をもっているが、その条件に合うかどうかなど、どう判断するのか。</p> <p>【事務局】 活用希望者が窓口に来られたら、希望の場所やいろいろな条件を聞き取る。空き家の場所は地図で確認できる。聞き取った情報を空き家の所有者や管理している方に伝</p>

えて、マッチングすれば所有者等の連絡先などの情報を提供する。

【委員】

不動産業者のところに相談者が来られたら、市に相談に行くように案内するのが良いのか。不動産業者で調べて相談者に提案することができるのか。活用希望者本人でないと、市からの情報提供は受けられないのか。

【事務局】

空き家の場所、空き家であるかの情報はどなたにも提供できる。

【委員】

1つの空き家で2つの異なる事業をする場合、補助金の併用はできるのか。

【事務局】

できない。補助率が高い補助金制度を案内することになる。

【委員】

跡地活用の補助金は何年くらい続ける予定なのか。何年くらいで空き家を一掃する計画とか。

【事務局】

将来的なことは言えないが、来年度も予算要求する予定。

【委員】

上限額が200万円で、何件分の予算を確保しているのか。

【事務局】

1件分。

【委員】

店舗をするのに駐車場は不可欠。駐車場を何らかの形で確保する必要があると思う。

【事務局】

今後の課題とする。

【委員】

所有者等を市でデータベース化しているのか。

【事務局】

している。

【委員】

納税義務者と所有者が一致していないことが良くない。相続登記も義務化になっている。一致していれば登記を見れば所有者の名前と住所はわかる。一致していないものを減らす努力もしていった方がいい。

【事務局】

実際に売買等の契約を結ぶ時は登記変更しておく必要があるため、相談を受ける中で登記変更について話すように検討する。

【委員】

所有者の方にアンケートを7月17日に送ったとのことだが、まだ返ってきてはかないか。

【事務局】

数件返ってきている。

【委員】

空き家の所有者は補助金が得られて、家賃収入等を得ら

れるようになれば良いと思うが、周辺の住民の理解は得られるか。飲食店等を望まない周辺住民もいるのではないか。後々の問題にならないように事前の調整が必要ではないか。

【事務局】

建築確認申請時の条件の確認をする。また、補助金申請時等に、周辺住民の方への説明等も伝えるよう検討する。

【会長代理】

委員のみなさまから貴重な意見が出た。予算的なことや地域の調整の話もあった。空き家の所有者と空き家の活用者の上手なマッチングをして地域の活性化を図るのが第1の目的なので、今出していただいた意見を参考にしながら事業を進めていく。

3 閉会